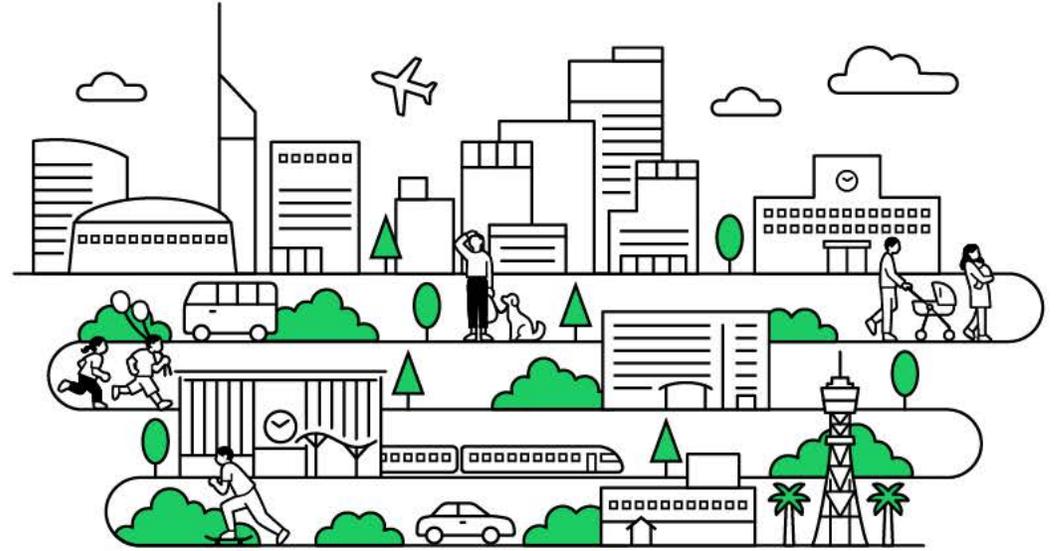


Comfortable Communication City Fukuoka



九州大学
大学院芸術工学研究院
大学院芸術工学府 芸術工学部

LINE Fukuoka

プロジェクト概要

プロジェクト概要

プロジェクト名：Comfortable Communication City Fukuoka(CCCF)

実施期間：2021年10月～2022年2月

担当教員：池田 美奈子 九州大学芸術工学研究院 准教授

総長特別補佐 芸術工学研究院長特別補佐

芸エインターナショナルオフィス副室長

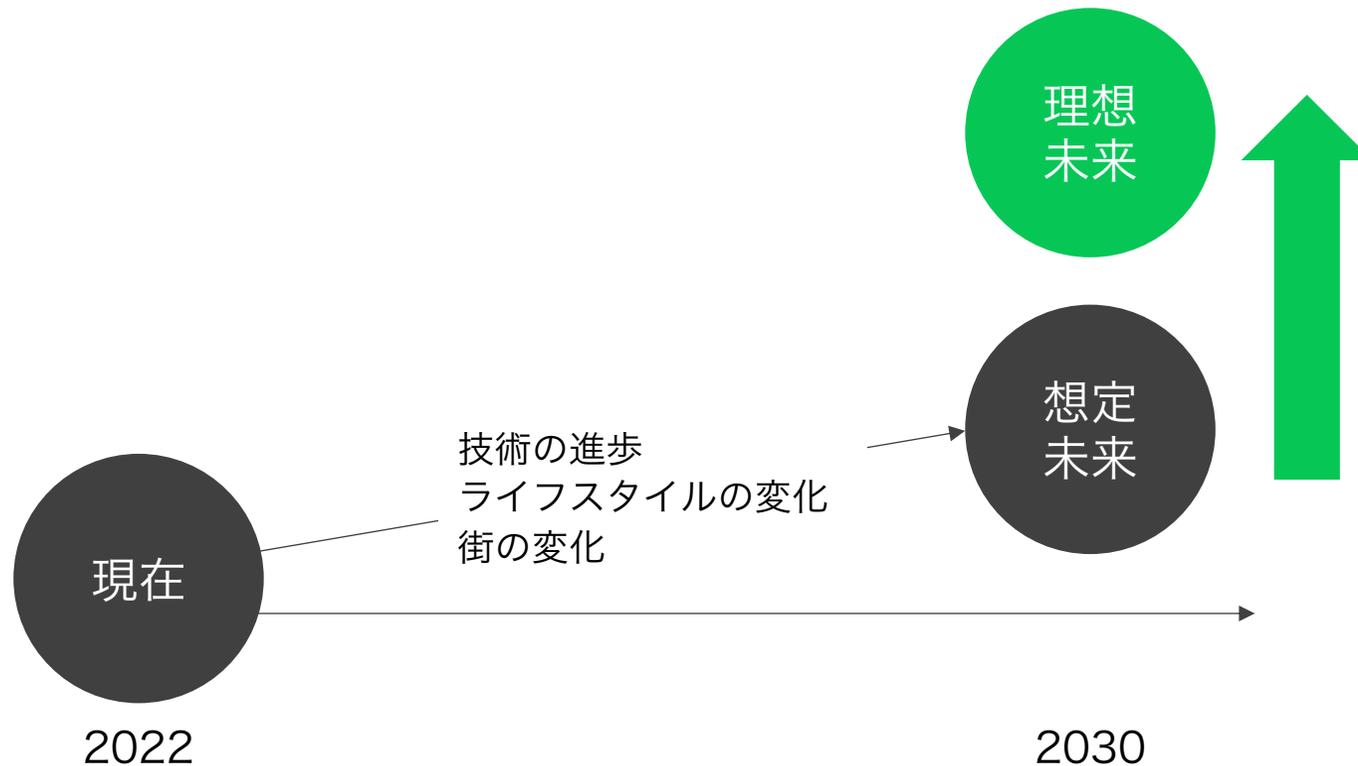
参画者：九州大学芸術工学部 工業設計学科 学部生6名 / 統合新領域学府ユーザー感性学専攻 修士生 4名

LINE Fukuoka Smart City戦略室 / Marketing Communication室



デザインフィクション思考

現在の課題ではなく、想定される未来に対し疑問を投げかけ、理想の未来の洞察を得るデザインフィクション思考で2030年の未来を考えました。

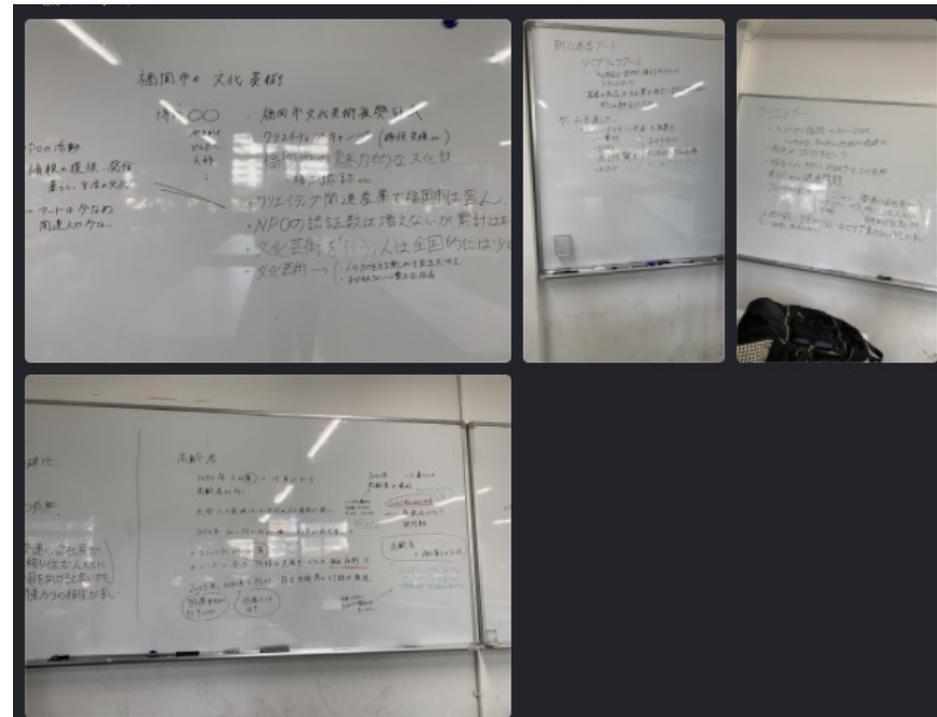


活動経緯

想定未来の予測

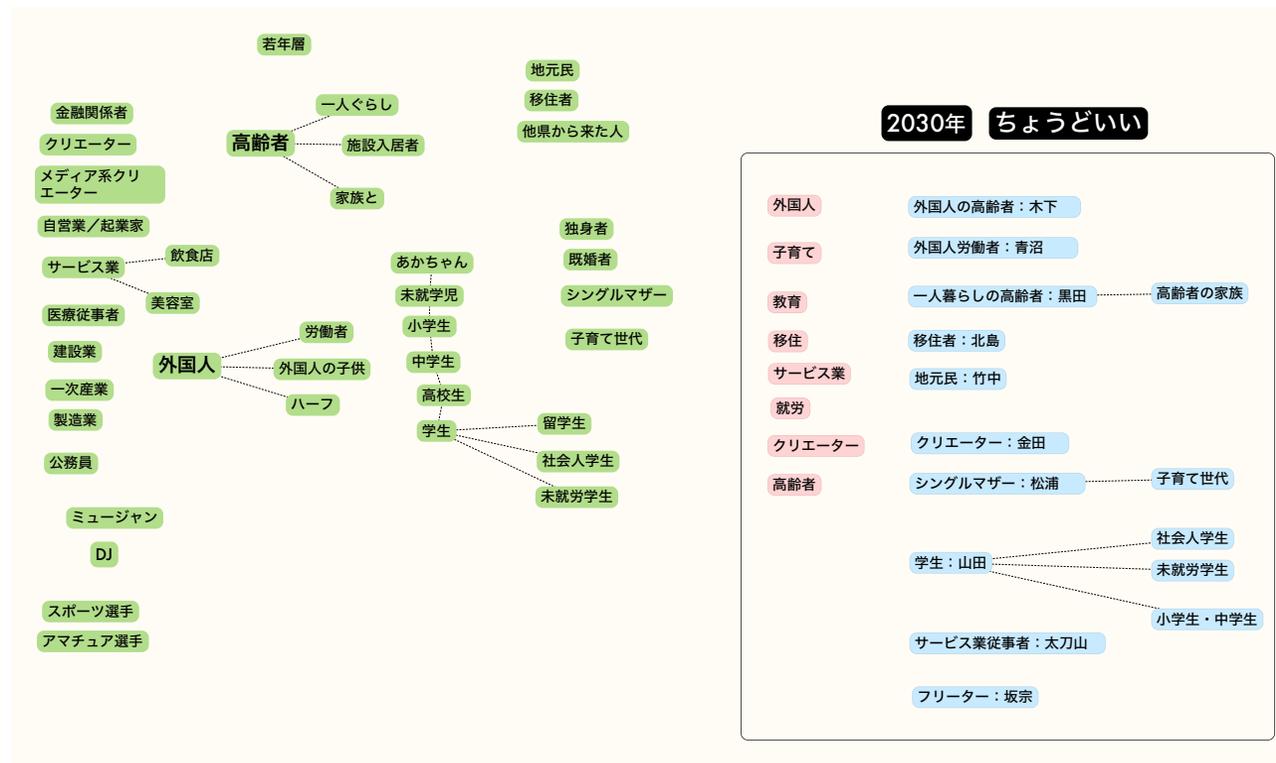
2030年までに起こる技術の進歩、ライフスタイルの変化、街の変化などを整理し、想定未来を予測

A	B	C	D
23.01.28	確定	予想	感想
2022	世界共通がこなされる https://www.fra-fukuoka2022.org/		
	博多駅駅東口駅前広場の改修工事了 https://www.city.fukuoka.lg.jp/hakataku/shikusei/machi/chuaku/guochi.html		
	福岡市美術館でゴッホ展が開催される https://www.fukuoka-art-museum.jp/exhibition/vangogh/		
	数年ぶりの博多どんたく開催		
	数年ぶりの博多山笠開催		
	ユニバーサルデザインタクシーの一般認知が進み、使用が促進される https://www.city.fukuoka.lg.jp/dutaku-toshi/sotukekaku/mach/UQT/AXI_2.html		
	福岡市空き家等対策企画の実施 福岡市隣近の空き家が減少する https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cn/3387066/1/pub2_kaika_hu_an.pdf?20211009105256	福岡市のHPを見るまで知りませんでした、	
2023	福岡市全域で電動キックボードmobbyのサービスが展開 https://mobbyride.jp/column/20210609		アートギャラリーや、留学生に向けた格安賃貸として一定の需要がありそう
	G7サミット開催 (最終点では場所不明)		
	水産県におけるICV技術の導入を市が後押し、効果化が進む。以、博多の幸がおいしい街としての評価がさらに向上する https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cn/3389123/1/kenaku.pdf?20211007130529		
2024	福岡空港 全長2500mの第2滑走路増設		
	福岡市、天神ビッグバン機軸の一角をなすメディアモール天神 (MMT) 一帯の再開発ビルが、この年以降に完成す 福岡市天神のメディアモール天神 (MMT) が、地上19階の複合ビルに生まれ変わる (福岡市役所北側で現状は地上9階、地下3階 博多駅東口の博多商業ビルが、地上11階地下4階のオフィスビルに生まれ変わる (福岡市の博多コネクティッド対象地域		
2025	日本で65歳以上の人口割合が30%を超える https://www3.cso.go.jp/4source/w/hspeaper/w-2019/hm/zanbun/3_1_1.html		
	福岡市天神の福岡ビル、天神コア、天神ビブレの一体開発が、このころ完了する (5年以内、天神ビッグバンの一環)		
	流通物流 セルフ管理 商品タグで管理 https://www.bonretail.com/market/detail/20170421_42690.html		
	百貨店 店舗はリアルで試着や相談などの機能を重視し、店舗規模は小型化 (売場面積6~8,000㎡を想定) 。外販ヘルフ、商品販促や接客トークはデジタル化、ウェブカタログで配信		



深めるテーマの設定

想定未来の整理から、特に変化大きく、理想的な未来を考える必要があると考えるテーマを設定



ペルソナの設定

設定した9つのテーマごとに、考えを深めるためのペルソナを設定

2021.12.26

■ペルソナ

- ・Aさん
- ・50歳
- ・高卒
- ・夫とは互いに干渉しない間柄
- ・子育て一段落
- ・福岡県八女市在住
- ・博多駅の土産物屋で八女の伝統銘菓である蹴洞(けほぎ)の販売、パート

■大学に行きたいと考える理由

パートで八女銘菓の蹴洞を販売しているが、八女に住んでいる人しか買いに来ない。銘菓であるにも関わらず、多くの人によさが伝わっていないと感じている。

一方、隣の店では、通りものの販売が行われており、日々店は大賑わい。行列ができています。

通りものに負けたくない！通りものの売り上げを超えたい！という思いと、どうすれば、もっとお菓子を売って、八女のことを知ってもらえるだろうか、悶々としながら店に立っている。

通りものの店を観察する。

見た目？味？発信の仕方？店の雰囲気？人はどこに重きを置いて買い物をするのだろうか。その疑問を解決するため、大学へ行き、研究して、成果を持ち帰り、店のリニューアルにつなげたいと考えている。

■キーワード

科学的根拠

通りのデザイン(蹴洞と人、人と八女)



2030年外国人労働者

2021年12月27日 10:19

張 偉 チャンウェイ

留学生(某QA 業工 デザスト)

中国・華南出身

男子

28歳

父・母・姉の4人家族

中国語(英語喋れる、日本語勉強中)

趣味

・日本語と文化のお勉強

・アニメ鑑賞(東アニ系)

Youは何しに福岡へ？

やりたいことがあって&就職も日本でしたい！

やりたいことは？

福岡で就職したい！

↑2030年現在、給料が母国よりも高い！！
&国際金融都市化でアジアでは福岡が今アツイ！！

曾段研究していること

・IoTを利用したまちづくり

⇒ゆくゆくはノウハウを教鞭に持ち帰りたい

1日のルーティン

10:00 起床

～身支度&移動～

10:30～ 研究室入り

12:00～ お昼ごはん

13:00～ 研究室戻る

～23:00 研究

～風呂など～

00:00～ アニメ鑑賞

3:00～ 就寝

2030年どんな？

英語が徐々に身の回りに溢れ始めた。
楽天などの大企業は英語の利用が一般化
一方で、中小企業までは普及しきっていない状況

根拠

- ・2030年福岡国際金融都市化
- ・外国人労働者の増加(推定209万人)
- ・少子高齢化による労働力競争の激化

理想像(描くユートピアの図)

⇒言語の壁がない

- ・就職
- ・日常生活

組み込む要素

- ・同時翻訳
- ・日本人の新たな英語教育

ストーリー

母国でもともと数年デジタル系の業界で勤務

今より未熟くなって、言葉の壁も低くなっていることから来日を決意

現在はデザストで勉強しながら、日本での就職にむけて力を蓄えている

表現方法

イラスト・漫画(インスタにあがっているiDコースの紹介風に)

提案物

①英会話ポイント(日本人に向けた政策)(外国人の就職面):

企業が社員向け英会話教育など、「日本人が外国人に合わせる」

体勢が強ければ強いほどポイントがもらえて、

そのポイントで補助金をうけられる

②LINE制度っぽい、外国人に向けた、生活をしやすいサービス

(仮称)

⇒これによって日本で生活しやすい



福岡の企業に勤める社会人向けに発表

LINE Fukuokaをはじめ、福岡の企業に勤める社会人向けに2030年、福岡の未来のコミュニケーションについて発表

